

じゆくご 熟語ランド

第18回

田代しんたろう



必要は発明の母

言葉の意味

ここで使われる「母」は、生み出すものの意味です。
発明は必要に迫られるからこそ生まれるのだという、ことわざです。



発明は、これまでなかった物や方法を考へて作り出すことです。「こういうものがあつたらもっと便利になるなあ」と必要を感じるから、新しい道具や技術が考え出されるのですね。

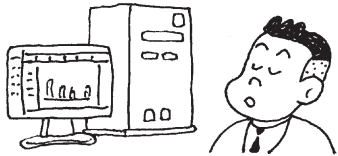
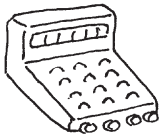
こんなふうに使つよ

新発明の
そつじ道具
です

こういうの
ほしいと
おもつたのよ

必要は発明の
母だなあ

必要は発明の母で
計算機が開発
されたが
今では
コンピュータに
進化したぞ

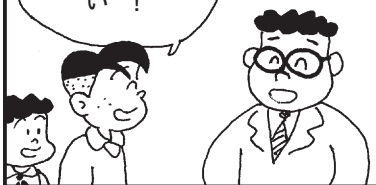


習二君の
必要は発明の母

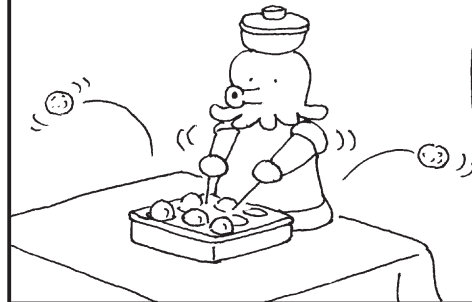
家庭でも上手に
たこ焼きが
できるように

たこ焼き
ロボットを
発明したぞ

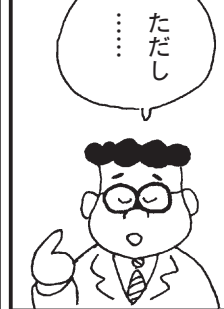
必要は
発明の母！
素晴らしい
ですね



時々失敗して
たこ焼きが
飛んだよね



そこで
必要は
発明の母

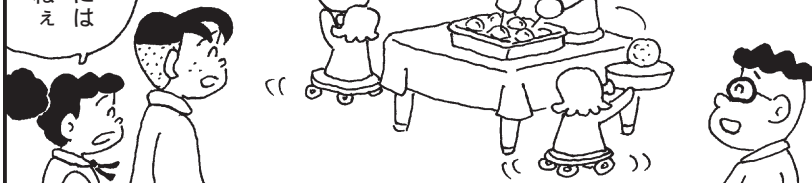


飛んだ
たこ焼きを
受け止める
ロボットも
発明しました



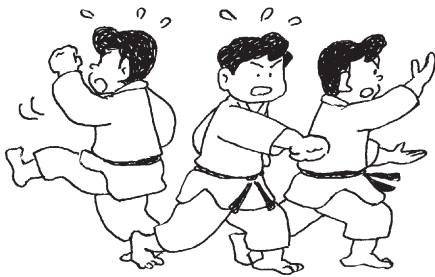
面白い
けど

家庭向けには
ちょっとねえ





しゅうじ君の ことわざ。



言葉の意味

一心不乱の意味は一つのこと迷いなく取り組み、他のことに心を奪われない様子のことです。

一心不乱 (いっしんぷらん)

目標や目的に向かって懸命に頑張っていたり、一つのこと打ち込んでいる姿を表します。やみくもに行動するのではなく、心を集中させているという肯定的な意味に使います。

こんなふうに使おう

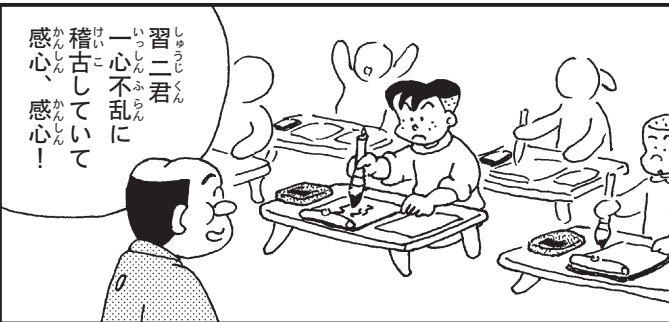


「一心不乱にゴールを目指す姿に感動しました」



「新型コロナに打ち勝つために一心不乱に研究に励んでいます」

習二君の 一心不乱



「習二君、一心不乱に稽古して、感心、感心！」

「ホント一心不乱に取組む姿、素敵だわ」



「もじ子ちゃんの熱い視線を感じるぞ」



「もじ子ちゃんの目にカッコ良く映ってるかなあ」



「どうかなあ、心配だなあ」



「ちょっと集中が切れて、一心不安になっただぞ」